

第2回半田市議会定例会 文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、2月27日、午後1時40分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第2号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

小学校児童放課後等居場所づくり事業の国庫補助金である、子ども・子育て支援施設整備交付金及び、県補助金である、愛知県子ども・子育て支援施設整備交付金の交付額が減額した理由は何か。とに対し、

国庫補助金については、交付対象として申請した事業費の一部が、対象外となったためであり、県補助金については、単年度事業のみが補助対象であり、2か年に渡る当事業は補助対象外となったためです。とのこと。

地域介護・福祉空間整備推進交付金の減額について、予定していた施設整備を中止したとのことだが、その理由を把握しているか。とに対し、

小規模介護付きホーム等の新設予定地の物件取得が遅れていることで、計画を延期せざるを得なくなったものです。なお、場所の確保ができ次第、改めて申請される見込みです。とのこと。

第2回半田市議会定例会 文教厚生委員会委員長報告書

障がい者等自立支援事業について、増額補正の主な要因と一般財源の増額の理由は何か。
とに対し、

増額補正の要因として、今年度最も給付費が増加したサービスは重度訪問介護で、障がい福祉サービス等費用の負担割合は基本的に国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1ですが、この重度訪問介護は、補助基本額に調整率を掛けた金額を基に、負担額を算出するサービスであるため、一般財源が増額となりました。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第5号、議案第6号、および議案第7号については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに挙手により採決した結果、3議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。